

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

経営理念

お客様の衣食住遊を豊かにする商品及びサービスをより高い利便性、経済性、ファッション性をもって提供し社会に貢献する

売上高
2,531億円

営業利益
165億円

ROE
8.0～10.0%

2 中長期の経営戦略

1. ポートフォリオ経営の成熟

1つ1つの事業を太く強くし、外部環境の急激な変化に対応

3. 既存事業の効率化

アパレル・雑貨事業、呉服関連事業、データベース活用事業で収益性・効率性を最大化

2. 成長事業の積極展開

ホテル展開を軸としたプロパティ事業、化粧品健康食品事業、グルメ事業、ナース関連事業で利益成長

4. 人材育成の強化

各セグメント目標達成と外部環境への適応に向け実践的人材育成を重点的に推進

3 対処すべき課題

① 成長ドライバーの強化

- ・インバウンド需要の拡大を好機としホテル展開を重要な成長ドライバーに位置づけ
- ・化粧品健康食品事業、グルメ事業、ナース関連事業の安定的拡大を優先

② 既存事業の収益改善

- ・アパレル・雑貨事業で新規獲得を適正水準に戻す
- ・リピート率回復により営業利益の黒字化回復を目指す

③ ガバナンス体制の強化

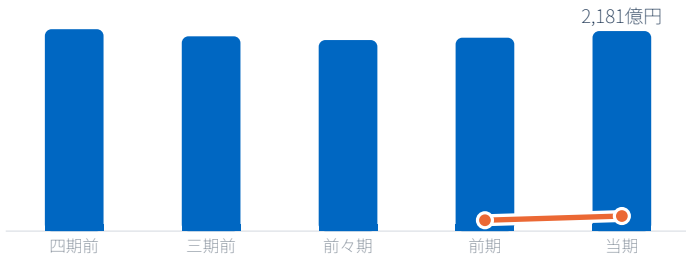
- ・コンプライアンスを含めたガバナンス体制・リスク管理体制の整備・運用強化
- ・内部監査室・法務部・経営企画室の3部門連携によるリスク管理業務の推進

面接で使えるポイント

- ・2028年3月期に売上高2,531億円、営業利益165億円を目指す第6次経営計画で、成長と効率のバランスを重視
- ・インバウンド需要の拡大を捉えホテル展開を軸とした事業展開を推進する戦略
- ・化粧品健康食品、グルメ、ナース関連など消費マインド影響を受けにくい事業領域に注力

証券コード 9997

業績の推移（売上＝棒／営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
2,181億円営業利益率
7.6%財務健康度
39点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 45.0（当サイト算出の参考指標）

平均年収
549万円

小売業内 155位/318社

平均年齢
36.5歳

小売業内 262位/318社

平均勤続
12.3年

小売業内 126位/318社

女性管理職
13.2%

小売業内 123位/250社

男性育休
62.5%

小売業内 121位/193社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

